

しろやま

【学校教育目標】 学校HP QRコード→
ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生きぬく子どもの育成



御船小学校 学校便り

令和6年10月16日(水)
文責：校長 濱本竜一郎

御船小「ふるさと御船学」～御船町の人・自然・歴史・文化に学ぶ～

昨年度に引き続き、御船小「ふるさと御船学」として、生活科・総合的な学習等を行っています。御船小「ふるさと御船学」の目的は、「地域と積極的に関わる体験活動の場を設定し、ふるさと御船に誇りを持ち、地域と関わり合いながら自分の将来の夢について考える」ことです。

御船小「ふるさと御船学」を通して、御船町の人・自然・歴史・文化を、大好きになってほしいと思います。今回は、5年生の取組例を紹介します。

～5年生理科「流れる水のはたらきと土地の変化」～

5年生は、「ふるさと御船学」として、理科「流れる水のはたらきと土地の変化」を学習しました。

城山の頂上から御船川方面を見渡しました。すると、御船川がつくった平地の様子がよくわかりました。その後、御船川に移動して、周辺の様子を観察しました。教科書や動画だけでは分からない生きた教材です。

城山は古城であり、神社もあり、その歴史に触れることもできました。（理科専科、佐藤隆幸先生より）



～5年生総合「田植えをした田んぼの草取り」～

5年生は、「ふるさと御船学」として、総合「田植えをした田んぼの草取り」を行いました。

5年生の横山さんのおじいちゃんとおばあちゃんに草取りのやり方をご指導いただきました。もちろん手作業です。

1学期に、5年生が植えた稲の苗が、雑草とともに、子供たちの腰あたりまで成長していました。稲もみの中でおこめが成長していることも確認しました。

御船町での米作りを体験するとともに、横山さんのおじいちゃんとおばあちゃんのように、御船町に住む心やさしい人たちと出会うことができました。（5年担任、井上由美先生、椿優子先生、吉村里衣奈先生より）

